

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
I Pランドスケープ要論		Z 156	1 単位	1 学期
Essentials of Intellectual Property Landscape				
科目分野		課程領域		
知的財産マネジメント		イノベーションマネジメント共通科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
杉光 一成 小林 誠、野崎 篤志	-	メールアポイントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)

知的財産要論	特許情報実務特論	知的財産戦略実務特論 1
知的財産戦略実務特論 2	技術経営要論	技術標準化と経営戦略特論

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

本講義は、最近になって注目を集めている「IPランドスケープ」という知的財産情報(特に特許情報)とビジネス情報を統合した経営戦略及び事業戦略の最新の支援手法に関する理論から応用、実践事例までを取り扱う。
 なお、また、後期の特許情報実務特論を履修する場合の基礎的なマネジメント知識となるので、これらの授業を履修予定の者は本講義を受講しておくことが望ましい。なお、知的財産の法律に関する知識はほとんど不要であるが、可能であれば知的財産要論を履修しておくことが望ましい。

到達(修得)目標

IPランドスケープの基本を理解し実践できる

受講対象者

企業(特にメーカーを中心とする技術系企業)の経営企画部、事業部、研究開発部門等において新規事業、製品・商品企画に携わる者、又は携わろうと考えている者、知的財産部門等において、経営・事業戦略の支援業務に携わる者、または携わろうと考えている者、弁理士、経営コンサルタント、知的財産をビジネスに活用したいと考えているビジネスパーソン等

履修上の注意事項やアドバイス

※ 本科目は、集中開講または変則開講クラス(合計8コマ)で構成する。開講日時に注意すること。
 ※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
 ※ 担当する教員は実務家教員とする。
 ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	○	Z2: 独創力	○	X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案	○	Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	
Y6: 標準化	○	Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力	○	X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	講義		
2	ディスカッション		
3	授業内容に関するレポート		リアクションペーパー

評価の方法

(総合評価項目と割合)		評価の要点
平常点(出席を含む)	50%	毎回、事務室より出席簿を準備する。授業における受講態度やリアクションペーパー等によって、授業内容の理解度を確認する。
リアクションペーパー	50%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	授業中に示す	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「IPランドスケープ経営戦略」(IPL経営戦略研究会, 渋谷高広 著, 日経新聞出版)	
参考URL		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1	IPランドスケープとは何か ビジネス(経営戦略・事業戦略)におけるIPランドスケープの位置づけ 理論的基盤となる「マーケティング論」の基礎知識	配布資料	杉光	90分
	イベント	リアクションペーパー		
2	戦略立案プロセスと戦略立案に必要となる各種情報 ・事業戦略やマーケティング戦略等、各種戦略立案プロセスの理解 ・戦略立案における特許情報と特許以外の情報の活用方法	配布資料	野崎	90分
	イベント	講義、グループ討議		
3	IPランドスケープを実現するための知財情報分析① ・知財情報分析のプロセス ・知財情報分析結果の可視化＝パテントマップ	配布資料	野崎	90分
	イベント	講義、グループ討議		
4	IPランドスケープを実現するための知財情報分析② ・パテントマップの読み解き方と特許以外の情報の活用方法 ・知財情報およびその他情報分析からの戦略立案	配布資料	野崎	90分
	イベント	講義、グループ討議		
5	IPランドスケープの活用① ・ケーススタディ(新規事業開発関連の事例紹介)	配布資料	小林	90分
	イベント	リアクションペーパー		
6	IPランドスケープの活用② ・ケーススタディ(アライアンス検討関連の事例紹介)	配布資料	小林	90分
	イベント	リアクションペーパー		
7	IPランドスケープの実践 ・仮想事例を用いたグループディスカッション	配布資料	小林	90分
	イベント	講義、グループ討議		
8	IPランドスケープの実践とその課題(パネルディスカッション)		杉光 小林 野崎	90分
	イベント	パネルディスカッション(企業からのゲストスピーカーも招聘予定)		

※ 講義日程は、学事ポータルでの講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。